

2017年12月「野田人車鐵道跡を歩く会」のご案内

(Rev.1)

2-3期校友会 ハイキング同好会

担当科 ふるさと伝承科

2017年12月度の「野田人車鐵道跡を歩く会」のご案内をいたします。

今回は江戸時代初期から醤油の街として発展した野田を散策します。平坦路ですので、皆さん多数のご参加をお願い致します。ハイキング後、籠原駅前にてハイキング同好会の「忘年会」を行います。

—— 明治から大正末期まで人車鐵道が行き交った、醤油づくりで発展した街（野田）を探索する ——

1. 日時 2017年12月1日(金)
2. 行先 千葉県野田市（野田市駅～愛宕駅）
3. 募集人員 定員はありません。参加希望者は各科幹事の方へお申し込みください。
締切りは11月20日（月）とします。
4. 参加費 上花輪歴史館入館料¥500
(交通費各自) ¥760（籠原～大宮）¥420（大宮～野田市）¥1180×2（往復）
5. スケジュール 東武野田線野田市駅南口 9時30分 集合

<電車(案)> 高崎線品川行 深谷駅 7:40 発 籠原駅 7:48 発 熊谷駅 7:54 発 大宮駅 8:33 着
東武野田線 大宮駅 8:41 発 野田市駅 9:25 着

<街歩き>

野田市駅 9:30→野田市郷土博物館 9:40（見学）10:30 発→キョーマンもの知りしょうゆ館 10:45
（見学 11:00～12:00）昼食 12:00～12:40→けやき並木→上花輪歴史館 13:15～13:55→興風会館 14:10
→キョーマン野田本社 14:15→千秋社 14:25→茂木本家邸 14:30→野田醤油発祥の地の碑 14:40→
つけもの板倉 14:45→キノエネ醤油 15:00→愛宕神社 15:10→愛宕駅 15:25

<帰り電車> 愛宕駅 15:43 発 大宮駅 16:23 着 大宮発 16:32 発 籠原駅 17:14 着

<歩行距離> 約5km

6. その他、注意点

- ・街歩きについては、ボランティアガイド「むらさきの里のだガイドの会」の方の説明を聞きながら散策します。
- ・昼食は各自で用意のこと。もの知りしょうゆ館の講堂にて食事します。
また、もの知りしょうゆ館にて「特製しょうゆもろみ弁当」¥840が予約
できます（予約の方は11月25日までに加藤まで）
- ・「少雨決行」。但し、荒天が予想される場合は別途前日に連絡致します。



◎「忘年会」について

- ・場所 とんふみ(籠原駅前)(2F)
- ・時間 2017年12月1日 17:30～
- ・会費 ¥3,700:ソフトドリンクグループ(食事+ウーロン茶) 食事はご飯、みそ汁、デザート、コーヒー付
¥3,500:アルコールグループ(食事)、アルコール代は別途、飲まれた方で割り勘とします。
- ・参加締切 ハイキング同様11月20日（月）とします。
申し込みは下記の各課幹事までお願いします。

幹事:	福祉・環境科	笹沢 修	sasazawa2910@triton.ocn.ne.jp	080-2675-3800
	ふるさと伝承科	加藤 治朗	jkatoh19@sirius.ocn.ne.jp	090-1894-1679
	美術工芸科	市野 富雄	ichino1010@jcom.zaq.ne.jp	080-1189-4660

野田市人車鐵道跡を歩く会ルート



青線 ——— 醤油の街野田の運搬手段として荷物を載せて人夫2人で工場から江戸川までの人車鐵道跡

- 野田市駅着 ⋯⋯⋯▶ 赤点線ルートはガイドなし
- 郷土博物館： 醤油の街の歴史や生活を学ぶ（入場無料：約40分）
- もの知りしょうゆ館： 醤油の基礎知識を学ぶ工場見学、昼食（入場無料：見学60分、昼食約40分）
以降 ボランティアガイドの説明付きで巡ります。赤鎖線ルート - - - - -▶
- 上花輪歴史館： 醸造家・高梨兵左衛門の屋敷、枯山水と築山の庭園が見処（入館料：¥500、約40分）
- 興風会館： 昭和4年（1929）に竣工し、建築様式はロマネスクを加味した近世復興式のもので、大・小講堂、地下ギャラリー、集会室などを備えている。設計者の大森茂氏（1894～1934）は神田駿河台の明治大学旧校舎や旧細川公爵邸（和敬塾本館・都文化財）などを設計した建築家。（国の有形文化財）今回は内部改装中のため外館見学のみ
- キッコーマン野田本社： 現在は近代建築になっている。
- 千秋社： 大正6年に高梨・茂木一族の8家が合同して野田醤油株式会社を設立したときに、これを支援する経営者団体として合名会社**千秋社**を組織した。醤油の語呂にちなんで「商誘銀行」と名づけられた。
- 茂木本家邸： 江戸時代から野田の地で醤油醸造を営んでき茂木家。住宅は十一代茂木七左衛門氏が宮大工の流れを汲む建築家の佐藤良吉氏に設計を依頼して、大正15年（1926）に建築国の「登録文化財」。
- 野田醤油発祥の地の碑： 室町時代永禄年間（1558～70）に飯田市郎兵衛が初めて野田で醤油を醸造したといわれる飯田家の亀屋蔵（工場）跡に記念碑がある。
- キノエネ醤油： 外観見学のみ。黒板塀の建物風景は醸造の歴史をしのばせる。
- 愛宕神社： 創建は延長元年（923）と伝えられ、社殿にある見事な彫刻は二代目石原常八の作。文化10年（1813）に再起工し文政7年（1824）に再建されました。社殿様式は権現造り・木造銅板葺。
- 愛宕駅着